

## 一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 号 機械振興会館内

TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354

西日本支部：〒566-8585 大阪府摂津市西一津屋 1-1

ダイキン工業(株) 油機事業部企画部

TEL. 06 (6349) 0241 FAX. 06 (6349) 9865

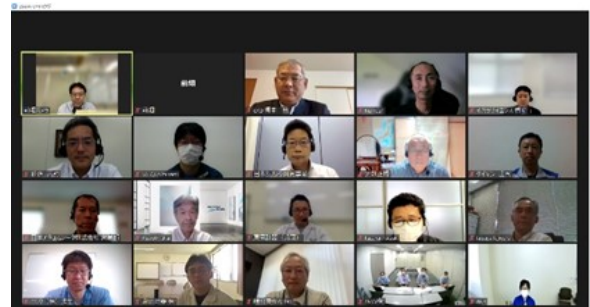
### 2022 年度技術・標準化合同委員会を開催

7 月 22 日 (金) 15:00~17:00、技術委員会と標準化委員会との合同で技術・標準化合同委員会を開催しました。今回の合同委員会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、参加者 19 人全員がリモート参加での開催となりました。

本合同委員会の議長は、標準化委員会の委員長である当工業会会長が務められることになっており、梶本会長により全体の議事が進められました。

冒頭、梶本会長（標準化委員長）から以下のご挨拶がありました。

「工業会・会長を務めておりますCKD株式会社の梶本でございます。



技術・標準化合同委員会（ウェブ会議）の様子

本日の技術・標準化委員会は、WEB 会議で実施とのことで、今日は、愛知県の小牧から参加させていただいております。

### 主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

|             |   |           |
|-------------|---|-----------|
| 技術・標準化合同委員会 | 1 |           |
| 委員会開催・活動状況  |   |           |
| 標準化事業       | 3 | 今後の主要行事予定 |
| 技術調査事業      | 5 | 7         |
| 広報・PR 事業    | 7 |           |
| 国・関連団体等会議   | 7 |           |

(一社) 日本フルードパワー工業会

URL : <http://www.jfpa.biz/>

コロナ禍をきっかけにして、テレワークや時差通勤など、企業活動における働き方改革が広く提唱されております。工業会での標準化活動のほとんどが、WEB会議で進められており、本委員会も、WEB会議とさせていただきます。

さて、標準化活動の重要性は、ここにおられる方々は、十二分に認識されておられるわけですので繰り返しは致しませんが、標準化の基本的な意義には、市場の拡大、品質・安全の向上、互換性・相互接続性の拡大、などがあると思います。昨年には、当工業会が先導した水圧ポンプの試験方法が、水圧関係で世界初の国際標準になりました。作業開始から約6年かかったわけですが、これも水圧の世界市場の拡大などに貢献すると期待しています。関係者の方々、ご苦労様でした。

工業会では、22の各分科会で様々な規格の新規案件や改定案を担当し、毎週何らかの分科会が開かれ議論しており、ここにおられる各委員の積極的活動に対して感謝申し上げます。また後で、報告があると思いますが、今年の秋に姫路で開催を予定しておりましたISO/TC131国際会議が、WEBで行うとのこと、決まったとのこと。コロナの影響で、日本開催が延期に次ぐ延期となっており、準備が大変になっておりますが、引き続きよろしくお願いいたします。

本日は、例年通り、昨年度の活動実績と今年度の計画の審議ですが、各委員の方々には、標準化活動を行うにあたって、気が付いた点、ご苦労されている点や改善点などを具体的に併せてご報告頂ければ、今後の活動の改善につながり、他の分科会の方々にも参考となると思いますので、よろしくお願いいたします。」

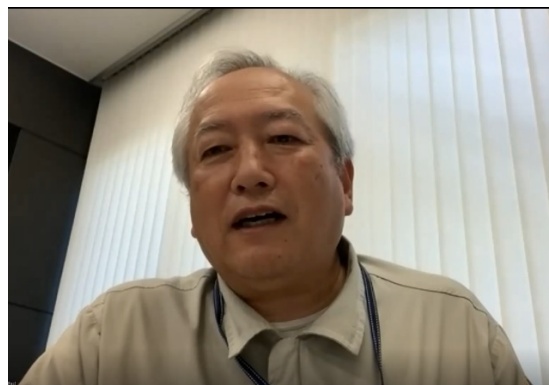


挨拶される梶本会長（標準化委員長）

続いて、嶋村副会長（技術委員長）から、以下のご挨拶がありました。

「皆様こんにちは。副会長を務めております、嶋村でございます。私は川崎重工業で、精密機械部門、精密機械というのは油圧機器とシステム、

それとロボット事業を担当しております。この数年というのは、カーボンニュートラル・低酸素社会を実現するというのがお題目というところから、本気でやらなければならない、そういった機運が一気に高まって来ていると思います。私達のフルードパワーそのもの、機器そのものは、二酸化炭素を生み出すというわけではないですが、様々な機械装置を動かし、そして制御していますので、フルードパワーの効率化、省エネ化に対する社会的な要請というのは一段と高まって来ていると思います。また、日本社会では高齢化、少子化が一層進んでおりまして、日本での労働力不足は、より大きな社会問題になると考えております。こういったことを背景に、これまでより広い分野で自動化、省人化、そしてそれを支えるIoT化を進めていくということも、より多く求められて来ている、そういった状況になっているかと思えます。こういった社会課題の解決と申しますか、社会課題に対応して社会に実装して行くといったことを一社で進めるというのは大変難しい、実際にはできないのではないかとこのように思えます。あのトヨタ自動車さえ、豊田社長は折に触れて、カーボンニュートラルの実現に向け、仲間を作る・仲間を増やすということをおっしゃられます。ましてや我々の企業規模ということ考えれば、本当にこういったことが重要になると思っております。本日は、技術委員会の方で、各部会の2021年度の活動の実績そして2022年度の計画をご報告頂きますけれども、この技術委員会の活動が、仲間を増やすという事の一助になっていくと思っておりますので、本年度もよろしくお願いいたします。」



挨拶される嶋村副会長（技術委員長）

続いて、参加各委員による自己紹介が行われ、その後、事務局より、配付資料の確認、技術・標準化委員会の構成、委員登録について説明を行いました。

次に、技術委員会の活動報告に移り、嶋村技術

委員長の司会で、技術委員会傘下の油圧部会、空気圧部会、水圧部会、IoT 推進部会及び空気圧特許分科会の順で 2021 年度活動実績及び 2022 年度活動計画の内容説明が行われました。審議の結果、特に異議なく承認されました。

次に、梶本標準化委員長の司会に戻り、標準化委員会傘下の ISO 国内対策部会及び規格部会の 2021 年度活動実績及び 2022 年度活動計画の内容説明が行われ、審議の結果、こちらも特に異議なく承認されました。引き続き、両部会傘下の分科会について各主査より 2021 年度活動実績及び 2022 年度活動計画について説明があり、こちらも滞りなく報告・審議が行われ、特に異議なく承認されました。また、幾つかの分科会からは、苦勞している点や工夫している点等、今後の分科会運営の参考になる報告がありました。

最後に、梶本標準化委員長より各委員への慰勞のお言葉、工業会藤原専務理事より委員会活動へのご理解・ご協力に対する御礼のコメントがあり、また、事務局より今年度の活動への協力依頼、ならびに来年度はコロナが終息し一同に会しての開催を祈念して、合同委員会を閉会しました。

#### 委員会開催・活動状況報告

~~~~~  
標準化事業  
~~~~~

#### 2022 年度技術・標準化合同委員会

日時 7月22日(金) 15:00~17:00  
場所 リモート  
出席者 梶本会長以下 19 名  
事務局 藤原、大熊、前畑  
議事 1 頁参照

#### 油圧フィルタ・作動油分科会

日時 7月5日(火)、13:30~16:00  
場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート  
出席者 難波主査以下 5 名(うちリモート:5)  
事務局 前畑  
議事

委員の新規登録があり、ENEOS : 菖蒲紀子委員が就任された。

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、投票済み案件の報告があり、ISO\_6057 : DIS 投票→賛成、ISO\_4405 : FDIS 投票→賛成、ISO\_12829 : CD 投票→賛成、で投票したとのこと。また、新規投票案件について審議し、ISO/DIS\_11500 コメントの PL 回答に対する賛否→各項目毎に賛否、

ISO\_16431 : 定期見直し投票→継続(Confirm)、ISO\_16860 : 定期見直し投票→継続(Confirm)、ISO\_23181 : 定期見直し投票→継続(Confirm)、ISO\_3724 : 定期見直し投票→継続(Confirm)、で投票することとした。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した(「\*ISO 関連情報」参照)。

次いで、6/23 開催の JIS 原案作成委員会の報告があり、JIS\_B9933 (油圧-作動油-固体微粒子に関する汚染度のコード表示) の改正原案の審議がなされたとのこと。

次いで、ISO\_18413 (Hydraulic fluid power - Cleanliness of components - Inspection document and principles related to contaminant extraction and analysis, and data reporting) の JIS 制定について、原案作成作業を行った。次回開催 : 11 月 1 日、機械振興会館+リモート

#### 空圧信頼性分科会

日時 7月12日(火)、13:30~16:00  
場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート  
出席者 妹尾主査以下 5 名(うちリモート:5)  
事務局 前畑  
議事

前回議事録の確認後、ISO 国際会議について情報共有した(「\*ISO 関連情報」参照)。

次いで、ISO/TC131/WG4 国際会議の課題である「ISO\_19973-1 の附属書 F において、外れ値検出の箱ひげ図の方法を実データで検証する」件に関して検討した。

次いで、JIS\_B8672-1 (空気圧-試験による機器の信頼性評価-第 1 部:通則)の改正について、日本規格協会からの指摘内容を確認し修正案を審議した。

次回開催 : 9 月 21 日、機械振興会館+リモート

#### 油圧ポンプ・モータ分科会

日時 7月14日(木)、13:00~15:00  
場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート  
出席者 庄司主査以下 12 名(うちリモート:12)  
事務局 前畑  
議事

委員の交代があり、カヤバ : 加藤弘毅委員から齋藤啓司委員に、島津製作所 : 金谷顕一委員から黒武者淳也委員に、豊興工業 : 三浦恵史委員から高木賢一委員に、日立建機 : 高橋正和委員から藪内愛智委員に各々交代された。

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、新規投票案件について審議し、ISO\_17559 : 定期見直し投票→継続(Confirm)で投票し、

ISO\_4392-3 : 定期見直し投票→各委員で検討することとした。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した(「\*ISO 関連情報」参照)。

次いで、5/17 開催の ISO/TC131/SC8/WG13 国際会議(ウェブ会議)の報告があった。

次いで、JIS\_B8661(電気及び電子制御式油圧ポンプ試験方法)は対応国際規格がないことになっているが、実際は ISO/DIS\_17559 に基づいていることが判明した。そこで、本 JIS の改正必要有無を検討することとした。

次いで、JIS 定期見直し検討依頼の案件、JIS\_B8397-1(油圧—モータ特性の決定方法—第1部:一定低速及び一定圧力条件)、JIS\_B8397-2(油圧—モータ特性の決定方法—第2部:起動特性)について改正有無を討議した。その結果、対応国際規格に変更がないため、改廃の必要なしの結論となった。

次回開催:12月6日、機械振興会館+リモート

#### 油空圧シール分科会小委員会

日時 7月20日(水)、13:30~16:00

場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート

出席者 南主査以下8名(うちリモート:8)

事務局 前畑

#### 議事

まず、ISO/TC131/SC7/WG3:フランス提案トリックシールについて討議した。フランス提案の内容を確認し討議した結果、内容的に他規格や文献等からの抜粋が多いため、日本としては反対にて回答することとした。

次いで、ISO/TC131/SC7/WG10:

Interlaboratory\_Test\_Program の結果について討議した。日本からのコメントに対してはほとんどが不採択であり、材料的な観点から試験条件が不足していると考えられるため、それを補う試験条件を提案することとした。

次いで、ISO/TC131/SC7/WG3:ISO\_3601-2 に関して討議した。アメリカがプロジェクトリーダーを務めていたが原案作成が滞っているため、プロジェクトリーダーをドイツに交代し、仕切り直しする旨の提案がなされているとのこと。討議の結果、日本としては賛成にて回答することとした。  
次回開催:必要に応じて開催

#### 油空圧継手・ホース分科会

日時 7月26日(火)、13:30~16:00

場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート

出席者 岩崎主査以下7名(うちリモート:7)

事務局 前畑

#### 議事

委員の交代があり、横浜ゴム:石井克昌委員から宮下暁委員に交代された。

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、既に投票済み案件の報告があり、ISO\_6149-1:FDIS 投票→賛成、ISO\_1179-2:DIS 投票→賛成、ISO\_4397:定期見直し投票→継続、ISO\_8434-6:AWI ドラフトの WG 投票→賛成、ISO\_11686:ドラフトの CIB 投票→コメント付き賛成、で投票したとのこと。また、新規投票案件について審議し、ISO\_12151-1:改正賛否の CIB 投票→賛成、ISO\_12151-2:FDIS 投票→賛成、ISO\_6605:定期見直し投票→継続、で投票することとした。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した(「\*ISO 関連情報」参照)。

次いで、4/21 開催の ISO/TC131/SC4/WG6 国際会議、および、6/20 開催の ISO/TC131/SC4/WG1 国際会議の報告があり、情報共有した。

次いで、JIS\_B2355-1(油圧・空気圧用及び一般用途用金属製管継手—Oリングシールによるメートルねじポート及び継手端部—第1部:Oリングシールポート)の改正について討議した。対応国際規格(ISO\_6149-1)の改訂内容を確認し、進め方を検討した。

次いで、日本ゴム工業会から依頼された JIS 定期見直し調査について討議した。

次いで、7/22 開催の技術標準化委員会の報告があり、情報共有した。

次回開催:10月25日、機械振興会館+リモート

#### 空気圧流量測定分科会

日時 7月27日(水)、13:30~16:00

場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート

出席者 妹尾主査以下10名(うちリモート:10)

事務局 前畑

#### 議事

委員の交代があり、ニッタ:浅里信之委員から久須祐典委員に交代された。

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、新規投票案件について審議し、ISO\_8778:定期見直し投票→継続、で投票することとした。また、ISO/TC131/SC9/WG2/N207:エネルギー評価規格に対するアンケートが来ており、日本回答を検討し、ISO/TC131/SC9/WG2 事務局へ回答することとした。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した(「\*ISO 関連情報」参照)。

次いで、6/1 開催の ISO/TC131/SC9/WG2 国際会議の報告があった。また、10/24 開催予定の ISO/TC131/SC5/WG3 国際会議のアジェンダについて、内容を確認した。



次いで、6/23開催のJIS原案作成委員会の報告があり、JIS\_B8390-1（空気圧-圧縮性流体用機器の流量特性試験方法-第1部：通則及び定常流れ試験方法）の改正原案の審議がなされたとのこと。指摘事項を確認し、修正案について審議した。

次いで、JIS定期見直し調査について討議した。

次いで、7/22開催の技術標準化委員会の報告があった。

次回開催：10月11日、機械振興会館+リモート

#### \* ISO 関連情報

- ・ISO中央事務局より、国際会議の形式は各TCの管理者レベルで審議し開催形式を決定しても良いとの通達が出ているとのこと。
- ・ISO/TC131関係の2022年の国際会議として、秋季（10月）は日本・姫路での対面会議を計画されていたが、まだ開催困難につきWeb開催となったとのこと。

~~~~~

#### 技術調査事業

~~~~~

#### 水圧部会

日時 7月6日(水)、13:30~15:00

場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート

出席者 内田部会長以下7名(うちリモート:7)

事務局 前畑

#### 議事

前回議事録の確認し、特に異議なく承認された。

次いで、PRグループの活動報告があった。水圧ブログ2件(日本アキュムレータ、阪上製作所)をJFPAホームページに掲載したとのこと。今後は計画表に従って原稿作成すると共に、原稿作成完了次第、適宜掲載することとした。

次いで、MRグループの活動報告があった。展示会視察報告として、FOOM JAPAN (6/7~9)及びジャパントラックショー (5/12~14)の報告があった。今後は計画表に基づき視察すると共に、ユーザーへの調査結果の概要を一覧表にまとめながら進めることとした。

次回開催：10月19日、機械振興会館+リモート

#### IoT推進部会

日時 7月14日(木)、15:00~17:00

場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート

出席者 満嶋部会長以下13名(うちリモート:13)

事務局 前畑

#### 議事

今回は、前回同様、講演を兼ねた会議として開

催し、満嶋部会長(カヤバ)の進行により開会した。

最初に、当部会の委員でもあるボッシュ・レックスロス社：浦井隆宏様より、「ボッシュ・レックスロスIoT紹介」と題して、ボッシュの目指すi4.0/IoT、リードユーザー、リードプロバイダ(製品・ソリューション紹介)について、ご講演頂いた。

その後、質疑応答という形で、意見交換・ディスカッションを行った。各委員からは、IoTの省人化との関連、SDGsやカーボンニュートラルへの展開、通信規格の標準化、予知保全解析の業界展開可能性等、活発な意見交換・ディスカッションが行われた。

今回は、これまで同様、講演会を中心とした部会とする予定である。

次回開催：別途調整

#### 若手技術者懇談会(2022年度第1回目)

日時 7月14日(木) 13:00~17:00

場所 日本工業大学 工業技術博物館

出席者 兵藤部会長(油圧)

妹尾部会長(空気圧)

懇談会参加者27名

事務局 大熊

本年度第1回目の若手技術者懇談会を実施した。今回はコロナ感染に対する行動制限の緩和に伴い、各種感染への対策を行ったうえでリアルでの開催となった。参加応募者は29名であったが、当日は各諸事情により27名の参加となった。また、今年度より空気圧部会長に就任頂いた妹尾様にも見学を兼ねて参加いただいた。懇談会の実施状況は以下の通りである。



写真1 博物館入り口



写真2 博物館内部

## 1. 開催の挨拶(兵藤部会長)



写真3 兵藤油圧部会長挨拶

2. 日本工業大学 工業技術博物館の見学  
工業技術博物館館長の清水様より挨拶と博物館の概要について説明をしていただき、2グループに別れて各種の説明をしていただきながら、博物館の展示物の見学をした。



写真4 清水館長挨拶



写真5 博物館の見学1  
(工業技術博物館の所蔵品の見学)



写真6 博物館の見学2  
(工業技術博物館の所蔵品の見学)

3. 技術者懇談会  
参加者27名はまず5グループに分かれ『工業技術博物館で見学した工作機で自身の設計製品または部品が作れますか』についてグループ討議をしてもらい、グループ単位での結論を出してもらった。また、量産を考えた場合、博物館の展示品での対応の可否について合わせて討議してもらった。  
その後全体の場で、各グループごとにまとめた結果をグループリーダーより発表してもらい、兵藤部会長や他グループ方より質疑応答を行った。
4. 懇談会終了後の参加者のアンケート結果  
アンケート調査結果より、博物館の展示品の見学はとても面白いものであり、工作機械の基本工程である旋盤工程やフライス工程、その他の各種工程などがよく理解できたとの回答であった。また展示品の見学については、ほぼ100%が『期待通りであった』の回答であった。  
懇談会での発表については、85%の方が大体発表ができたと回答している。ただ、グループディスカッションの時間が1時間ほどで、もっと長い時間話をしたかったとかという意見が多く、今後参考にしたい。
- このアンケート結果については今後準備ができれば、工業会のHP(会員サイト)にて開示する予定です。
5. その他  
通常は、懇談会終了後通常は懇親会を行い、社外の方との意見交換の場としており、とても好評であるが、今回はコロナの感染者がにわかに増えてきたため、実施見送りとなった。

次回開催：2023年2月

技術委員会空気圧部会第592回特許分科会  
日時 7月22日(金) 13:30～15:00  
場所 Web会議

出席者 安田幹事以下4名  
事務局 吉田  
議 事

はじめに前回議事録の確認を行った。公報の検討と無効理由調査について1件について今回で調査を終了することとした。2件については引き続き調査を行うこととした。1件の新規案件が提出され調査検討することとした。

今野委員から委員交代の報告があった。次回引継ぎを兼ねて分科会に出席の予定。  
次回開催：8月26日（金） Web 会議

~~~~~  
広報・PR 関連事業  
~~~~~

#### 第134回編集委員会 WG

日時 7月1日（金）15:30~16:45

場所 機械振興会館 6-68 会議室

出席者 水野副委員長、宮主査他8名

事務局 饗庭、大熊

議事

久々のリアル会議なので最初に自己紹介を行い議事に入った。

#### 1. VOL.36NO.4 秋号の進捗状況について

事務局から、原稿依頼はすべて完了しているが全体の頁数が少し不足しているという説明をしたところ、ずいひつが原稿が一つあるのでそれを採用してはどうかという意見があり、前向きに検討することになった。

#### 2. 新年号以降の記事候補について

事前に編集委員からいただいた記事候補に関して意見を交換した。特集記事候補としてはSDGs関連がいくつか挙がった。その他、研究室訪問、次世代若手紹介、ずいひつ、海外の窓等に関して議論を交わした。新年号以降に関しては、原稿管理表が作成されていなかったため8月中旬までに事務局が作成し、各委員に配信することになった。

#### 3. 機関誌の表紙変更について

秋号から表紙を企業広告ではなく、デザイン画とするため、現在、タカラ印刷が作成中である。

次回開催：9月16日（金）に編集委員会を開催する。

~~~~~  
国・関連団体等会議  
~~~~~

#### 第2回空気圧機器システム研究委員会

日時 7月5日（火）14:00~17:00

場所 SMC 会議室

出席者 藤原

香川委員長（東工大）から挨拶の後、以下の発表と質疑応答があった。

「SMCにおけるCO2排出量削減の取組み」SMC株式会社 蔵上大輔

「空気消費量が半減する空気圧シリンダ DCA」東京工業大学 北川 能

「空気圧による漏れ計測」株式会社エイムテック 佐々木 優

「エアタービンスピンドルを用いた切削加工における外乱推定オブザーバを用いたインプロセス工具損耗推定方法」福岡工業大学加藤友規

「柔軟シート型空気圧アクチュエータによる進行波の生成としわのばし動作への応用」東京工業大学小池和生

「フルードパワー（空気圧）産業界から研究機関への期待」について 香川利春・日本フルードパワー工業会：藤原 達也・日本フルードパワーシステム学会：成田 晋

#### 第81回事業基盤研究委員会

日時 7月21日（木）14:00~16:00

場所 WEB 形式

出席者 藤原

カーボンニュートラルの取組みについての講演

電子情報技術産業協会 Green x Digital コンソーシアム WG 主査 稲垣孝一氏

日本自動車工業会 総合政策領域長 岡紳一郎氏

~~~~~  
会員ニュース  
~~~~~

#### ☆訃報

理研機器(株)代表取締役社長 藤波昭夫氏 2022年7月15日、永眠されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

~~~~~  
今後の主要行事予定  
~~~~~

#### ※2022年

☆11月24日（木）西日本支部総会&本部理事会

☆11月25日（金）西日本支部総会懇親ゴルフ会

☆12月22日（木）政策委員会

#### ※2023年

☆1月11日（水）理事会・年始会

☆3月24日（金）政策委員会

☆4月21日(金) 理事会・懇親会  
☆5月18日(木) 定時総会・懇親会  
☆5月19日(金) JFPA ゴルフ懇親会

// 伊藤圭祐 (CKD)  
// 水野義宣 (TAIYO)  
// 中曾根祐司 (東京理科大学)

~~~~~  
7月に開催された当会各委員会に出席された皆様  
は以下の通りです。(敬称略)

~~~~~  
(標準化事業)

2022年度技術・標準化合同委員会

開催日 7月22日(金)

出席者

標準化委員長

梶本一典 (CKD)

技術委員長

嶋村英彦 (川崎重工業)

部会長 浦井隆宏 (ボッシュ・レックスロス)

// 兵藤訓一 (東京計器)

// 妹尾満 (SMC)

// 内田晃 (日本アキュムレータ)

委員 町田哲治 (東京計器)

// 鈴木一成 (コンバム)

// 庄司忠史 (ダイキン工業)

// 渡部文雄 (日本シリンダ共同事業)

// 岩崎宏文 (イハラサイエンス)

// 浅里信之 (ニッタ)

// 高野一治 (油研工業)

// 山崎慎也 (SMC)

// 土岐真人 (コガネイ)

// 難波竹己 (日本ポール)

// 南暢 (バルカー)

// 那須一文 (SMC)

// 田中崇行 (SMC)

油圧フィルタ・作動油分科会

開催日 7月5日(火)

出席者

主査 難波竹己 (日本ポール)

委員 遠藤剛 (SMC)

// 水落桂 (大生工業)

// 菖蒲紀子 (ENEOS)

// 阪口拓也 (MORESCO)

空圧信頼性分科会

開催日 7月12日(火)

出席者

主査 妹尾満 (SMC)

委員 鷺野向一 (アズビルTACO)

油圧ポンプ・モータ分科会

開催日 7月14日(木)

出席者

主査 庄司忠史 (ダイキン工業)

委員 黒川道夫 (イトトン)

// 齋藤啓司 (カヤバ)

// 吉村勇 (川崎重工業)

// 黒武者淳也 (島津製作所)

// 辻井喜勝 (タカコ)

// 賀集賢太郎 (東京計器)

// 高木賢一 (豊興工業)

// 稲田哲也 (ボッシュ・レックスロス)

// 林明宏 (油研工業)

// 宮田拓也 (小松製作所)

// 藪内愛智 (日立建機)

油空圧シール分科会小委員会

開催日 7月20日(水)

出席者

主査 南暢 (バルカー)

委員 安西祐二 (阪上製作所)

// 奥田智昭 (三菱電線工業)

// 但木郁夫 (荒井製作所)

// 寺島剛資 (エア・ウォーター・マッハ)

// 宗岡祥平 (NOK)

// 宮本博夫 (NOK)

// 高牟礼辰雄 (JFPA)

油空圧継手・ホース分科会

開催日 7月26日(火)

出席者

主査 岩崎宏文 (イハラサイエンス)

委員 塩田憲史 (ニッタ)

// 辻田智 (日東工器)

// 石井克昌 (横浜ゴム)

// 宮下暁 (横浜ゴム)

// 石附高 (日本ホース金具工業会)

// 横岡慎吾 (ブリヂストン)

空気圧流量測定分科会

開催日 7月27日(水)

出席者

主査 妹尾満 (SMC)

委員 川端啓之 (アズビルTACO)

// 森本光一 (コガネイ)

// 大竹崇 (CKD)



〃 水上秀彦 (TAIYO)  
〃 平田敏忠 (TAIYO)  
〃 浅里信之 (ニッタ)  
〃 久須祐典 (ニッタ)  
〃 高沢清継 (日本ピスコ)  
〃 香川利春 (東京工業大学名誉教授)

(技術調査事業)

水圧部会

開催日 7月6日(水)

出席者

部会長 内田晃 (日本アキユムレータ)

委員 黒須寛 (イハラサイエンス)

〃 高橋祐輔 (阪上製作所)

〃 茂木健 (三輪精機)

〃 石丸典幸 (豊興工業)

〃 田邊康伸 (廣瀬バルブ工業)

〃 細井耕平 (堀内機械)

〃 廣木純平 (アズビルTACO)

〃 川上 遼 (川崎重工業)

〃 所 宏美 (日立建機)

〃 吹留隼人 (日立建機)

〃 藤田 翔 (TAIYO)

〃 堀米翔斗 (TAIYO)

〃 村上海斗 (南武)

〃 村上海斗 (油研工業)

〃 土師裕也 (ホッシュ・レックスロス)

〃 岩城太郎 (日本ムーグ)

〃 栗原 陽 (TAIYO)

〃 松野隆広 (甲南電機)

〃 溝部 祐 (カヤバ)

〃 熊田直哉 (カヤバ)

〃 的崎託也 (ダイキン工業)

〃 田中 潤 (ダイキン工業)

〃 川原井圭一 (SMC)

〃 江口裕哉 (SMC)

〃 橋爪 洋 (大生工業)

〃 三宅孝明 (大生工業)

IOT推進部会

開催日 7月14日(木)

出席者

部会長 満嶋弘二 (カヤバ)

委員 園部達郎 (ASK)

〃 山科裕司 (ASK)

〃 高橋和弘 (カヤバ)

〃 谷田部隆史 (カヤバ)

〃 石井哲也 (川崎重工業)

〃 鶴賀寿和 (CKD)

〃 小杉文人 (東京計器)

〃 渡邊克也 (日本ムーグ)

〃 増野浩二 (日本ムーグ)

〃 浦井隆宏 (ホッシュ・レックスロス)

〃 永野卓 (油研工業)

〃 小野篤志 (ヨコタ工業)

技術委員会空気圧部会第592回特許分科会

開催日 7月22日(金)

出席者

幹事 安田善仁 (甲南電機)

委員 井野雅康 (SMC)

〃 今野英俊 (コガネイ)

〃 瀧 芳久 (CKD)

(広報・PR関連事業)

第134回編集委員会WG

開催日 7月1日(金)

出席者

副委員長 水野純一 (CKD)

主査 宮 能治 (カヤバ)

委員 和泉 誠 (甲南電機)

〃 豊田敏久 (川崎重工業)

〃 本間伸一 (SMC)

〃 松川正克 (阪上製作所)

〃 宮坂 篤 (油研工業)

〃 吉田将暉 (油研工業)

〃 安永和敏 (東京計器)

〃 寺尾 剛 (カヤバ)

〃 浦井隆宏 (ホッシュ・レックスロス) ※

〃 小辻一雄 (コガネイ) ※

※印はWeb出席者

(振興対策事業)

空気圧本部会・支部総会

開催日 7月14日(木)～15日(金)

出席者

若手技術者懇談会(2022年度第1回目)

日時 7月14日(木)

部会長 兵藤訓一 (東京計器)

部会長 妹尾 満 (SMC)

参加者 大槻 大 (三尾製作所)

〃 徳岡慎也 (廣瀬バルブ)

〃 檜原涼平 (堀内機械)

〃 田畑利憲 (東京計器)

〃 内藤大希 (SMC)

〃 望月祐亮 (日本ピスコ)

〃 泉 裕樹 (日本ピスコ)

〃 荒木 翼 (SMC)

〃 潘 云峰 (アズビルTACO)

副部長 小倉浩史 (SMC)  
幹事 中村賢次 (ニューエラー)  
会計 長谷川靖 (甲南電機)  
委員 川端啓之 (アズビル TACO)  
〃 宮崎文夫 (オリオン機械)  
〃 池 燦圭 (TAIYO)  
〃 澤田啓支朗 (タイインターナショナル)  
〃 沖田和久 (オリオン機械)

#### 東北支部

支部長 寺澤和秀 (SMC)  
幹事 田村直美 (中央オリオン)  
委員 金子克己 (CKD)  
〃 築井健人 (コガネイ)

#### 各支部代表

東京 丸山博樹 (東日本オリオン)  
名古屋 渡壁正度 (甲南電機)  
大阪 芳賀正明 (関西オリオン)  
広島 久世和彦 (CKD)  
九州 日高敬太 (CKD)

~~~~~

#### 月間行事概要

~~~~~

<7月>

1日(金)

- ・編集(委)第134回編集委員会WG

5日(火)

- ・標準化(委)油圧フィルタ・作動油分科会

6日(水)

- ・技術(委)水圧部会

12日(火)

- ・標準化(委)空気圧信頼性分科会

14日(木)

- ・標準化(委)油圧ポンプ・モータ分科会
- ・技術(委)IoT推進部会
- ・若手技術者懇談会
- ・振興対策 空気圧本部会・支部総会

15日(金)

- ・振興対策 空気圧本部会・支部総会

20日(水)

- ・標準化(委)油空圧シール分科会小委員会

22日(金)

- ・2022年度技術・標準化合同委員会
- ・技術(委)空気圧部会第592回特許分科会

26日(火)

- ・標準化(委)油空圧継手・ホース分科会

27日(水)

- ・標準化(委)空気圧流量測定分科会

---

☆経済産業省ホームページ

経済産業省のHPでは①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁HPでも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>

---